

相模原市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(円)	378,225,000	109,854,000	488,079,000	100%	
譲与額(円)	378,225,000	109,854,000	488,079,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

事業区分	事業名※	事業費(円)		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	市有林整備業務委託	17,844,386	17,844,386	既存の制度（水源の森林づくり事業）の対象外となる市有林の整備を実施した。
	林道修繕事業	5,995,000	5,995,000	老朽化した舗装の修繕を実施した。
	林道等パトロール業務委託	3,630,000	3,630,000	市営林道の良好な通行環境の確保、及び災害時情報収集等を目的としたパトロールを実施した。
	林道調査業務委託	8,016,700	8,016,700	林道の調査測量業務を実施した。
	林道復旧事業	17,771,000	15,000,000	被災した林道の復旧を実施した。
	市有林整備区域測量委託	17,411,900	17,411,900	寸沢嵐市有林の利活用に係る区域測量を実施した。
	森林病虫害防除委託事業	67,458,644	7,711,639	緑地（森林）におけるナラ枯れ被害対策（被害木の伐採等）を実施することで、人的被害や物的被害などの二次的被害及びナラ枯れ被害の拡大の防止を図った。（89本）
	住宅等緩衝区域整備事業	4,647,992	4,500,000	住宅や道路等に接する森林の林縁部を対象に、緩衝区域を整備することで、緑地環境及び生活環境の改善等を図った。（高木・越境木の剪定13本、伐採24本）
	公園樹木管理委託	3,644,300	2,800,000	公園（（仮称）城山中央公園）における森林の危険木及びナラ枯れ被害対策（被害木の伐採等）を実施することで、人的被害や物的被害などの二次的被害及びナラ枯れ被害の拡大の防止を図った。（16本）
	緑地樹木管理委託	23,764,096	2,800,000	緑地（森林）における危険木及びナラ枯れ被害対策（被害木の伐採等）を実施することで、人的被害や物的被害などの二次的被害及びナラ枯れ被害の拡大の防止を図った。（8本）
	危険木伐採事業	2,880,000	2,880,000	病虫害が起因となり枯損等を生じた森林内の危険木の伐採や処分又は撤去を行うために必要な経費に対する補助を行った。（12件）
J-クレジット制度導入業務委託	1,000,000	1,000,000	J-クレジット制度を試験的に導入し、費用対効果や事業スキームの検証を行った。（1プロジェクト実施）	
人材育成	さがみはら林業の人材育成・担い手確保事業	2,160,000	2,160,000	林業従事者の確保、育成に向けた資格取得費、機械購入費等の支援を行った。（6事業体）
木材利用および普及啓発	相模原市市民の森整備事業	1,045,000	1,045,000	相模原市市民の森基本計画に基づく施設等の整備の一環として、ナラ枯れ被害木の伐採を行った。（13本）
	SDGsパートナー制度事業	1,254,825	1,254,825	SDGsの達成に向けた取組を進めるため、連携する企業に対してさがみはら津久井産材製の記念品を配布した。
	児童机天板交換事業	8,129,350	8,129,350	小学校で使用する児童机の天板をさがみはら津久井産材の天板に交換し、児童に対し環境学習を行った。
	さがみはら津久井産材利用促進・普及啓発事業	6,132,000	6,132,000	不特定多数が利用する建築物の木造・木質化支援、木造住宅の建築・改修等に対する支援を行った。
	さがみはら津久井産材普及啓発事業	1,250,000	1,200,000	さがみはら津久井産材の利用拡大等を担う協議会における各種イベント出展費、イベントグッズ制作等の事業を実施した。
	図書館用木製什器作成委	343,200	343,200	さがみはら津久井産材を活用した図書館用備品を導入し、利用の促進及び普及を行った。
合計		194,378,393	109,854,000	

■今後の主な活用計画

森林整備

- ・市有林整備
- ・林道の維持管理

木材利用および普及啓発

- ・地域産木材の利用拡大に向けた普及啓発
- ・地域産木材を活用した木造建築物等に対する補助

人材育成

- ・林業従業者の確保、育成に向けた資格取得費等の補助